Rock and Rentには、北側からエルブルスに登るために必要な良質な装備がすべてそろっています。事前にご予約いただければ、セットを用意し、旅程開始に合わせてエルブルスの北側までお届けします。つまり、専門的な装備をほとんど持たずに、たとえ短パン姿でも到着できるということです。私たちはこれらの装備を、何よりもひとつの基準で選びました。それは、2001年から私たちが登山を実施しているエルブルスの実際の条件にどれだけ適しているか、という基準です。 このリストは細心の注意を払って作成しました。当社のガイドたちは合わせて数千回の登頂を率いてきましたので、ここに余計なものは一切ありません。必要な書類：

パスポート
航空券または鉄道乗車券
医療保険
外国人参加者向けのバウチャー

書類のデジタルコピーをスマートフォンとクラウドストレージに保存しておくことをおすすめします。 個人装備：

容量50-60リットルのザック
容量60-100リットルのダッフルバッグ
快適使用温度が、6月から9月まで（両月を含む）は-15から-5°C、10月から5月まで（両月を含む）は-30から-15°Cの寝袋直径70mm以上のバスケット付きトレッキングポール
アイゼン
ハーネスに連結するための5-6mmのアクセサリーコード2-3メートルを付けたクラシックなピッケル専用のカラビナを付けた個人用アイススクリュー1本
クライミングハーネス
ヘルメット
カラビナ5個（できればそのうち少なくとも3個は、ミトンをしたままでも扱いやすい大型のもの）セルフビレイ用ランヤード（カウズテール）

衣類と靴： アルペンスキー用のウェアはエルブルスに適していますか？

ダブルまたはトリプルの登山靴（プラスチック製または革製）
トレッキングブーツ
防水シェル：防水シェルジャケットとパンツ（できれば10,000/10,000以上の性能のもの）
フリースの上下
ベースレイヤー（上下）
厚手で暖かいダウンジャケット：エルブルスに適したものは、通常約700g以上の重さがあります暖かいミトン
厚手のスキーグローブ
薄手のフリースグローブ
バンダナ（谷での日よけ用、寒いときに喉や顔を保温する用）
暖かい帽子
登頂日用の暖かいトレッキングソックス
日よけ帽子
トレッキングパンツとTシャツ（できれば長袖）
トレッキングソックス（できればトレッキングの日ごとに別のものを用意）

その他：

バッテリー持続時間が24時間以上のLEDヘッドランプ側面からの光を完全に遮る、カテゴリー3-4のサングラス悪天候用のカテゴリー1-2のスキーゴーグル
容量1リットルの保温ボトル（できればプッシュボタン式でないふたのもの）顔の下半分を覆う防風マスク（スカーフでも部分的に代用できます）質のよい日焼け止め（SPF 30-50）
SPF 15のリップクリーム
個人用救急セット
弾性包帯および/またはサポーター
ゲイター：必須ではありませんが、特に5月と6月には必要になることがあります

化学カイロ：必須ではありませんが、とても役立つことがあります